



進路だより コンパス Compass

種子島中央高校 進路指導部

No3

(通号 第120号)

令和5年3月24日

平成21年4月27日 第1号発行

第13期卒業生進路決定状況

2月28日に卒業した第13期生の進路が決定しました。

国公立大学・短期大学では、鹿児島大学(3)・宮崎大学(2)・大分大学・佐賀大学・宮崎公立大学(2)・北九州市立大学・島根県立大学・高知工科大学・川崎市立看護大学・鹿児島県立短期大学の15名、私立大学・短大については、鹿児島国際大学・志学館大学・鹿児島女子短期大学の県内大学等をはじめ、県外も含めて16名の進学が決定しました。昨年比で、国公立大学・短大は8名増加、私立大学・短大については3名減少でした。専門学校等進学者は32名であり、同じく昨年比6名減少でした。

就職については、公務員(自衛隊)に5名、一般企業への就職者は4名でした。特に、一般企業就職者数は昨年より7名減少しており、最近是一般企業就職希望者数の減少が顕著となっています。卒業生総数が7名減少する中で、一般企業就職者数が7名減少という実態がそれを表していると言えるでしょう。

また専門学校進学については、医療系進学者(医療事務を含む)が8名であり、専門学校進学者数の25%を占め、例年同様に根強い人気だったと言えます。

<進路体験発表会を聞いて>

去る2月21日(火)の4校時に、「3年生による進路体験発表会」が実施されました。3年1~3組の各クラスから、それぞれ2名ずつ発表者が選出され、発表者は各自の進路決定までの取り組みや後輩へのアドバイスなど、具体的な事例を交えた講話やパワーポイントによる説明をしてくださいました。1・2年生にとっては、学校生活で関わりがある身近な先輩方の発表ということもあり、興味や関心が大きく、一生懸命にメモを取る様子が見られました。

発表者の進路先はそれぞれ違いますが、面接練習や小論文指導、そして各教科の個別指導など、自ら主体的に行動を起こすことの重要性を訴えており、先生方や友人など多くの人々の協力を得て良い結果に繋がったとの発表内容でした。そして、周囲の人への感謝の気持ちを忘れずに、1・2年生の皆さんが目標を達成できるようにとエールを送って下さりました。在校生の皆さんは、先輩方の発表事例を思い出しながら残りの学校生活を「主体的」に行動しましょう。

令和4年度卒業生進路決定状況

	普通科	情報処理科	計
国公立大学	13	0	13
私立大学	10	2	12
公立短大	2	0	2
私立短大	3	1	4
専門学校	14	15	29
公共職業訓練校	1	2	3
公務員	1	4	5
一般企業就職	0	4	4
その他	2	2	4
合計	46	30	76

発表者	進路先
石堂りんご	島根県立大学・国際関係・国際関係
岩澤ひかり	宮崎大学・農・畜産草地
宮脇七海	鹿児島女子短期大学・児童教育
徳永路海	東洋医療専門学校・鍼灸師科
岡山幸矢	株式会社イケダパン・生産職
日高怜士	陸上自衛隊・自衛官候補生



<進路ガイダンスを終えて>

3月17日（金）に1・2年生対象の進路ガイダンス（島内企業ガイダンス）が行われました。今回のガイダンスは、地元企業で活躍する方々から直接仕事内容等を聞くことで、地元の魅力を再発見し、地元企業を知る良い機会となりました。進学等で離島する生徒が多い本校ですが、将来は種子島に戻ってきたいと考える生徒も多くいます。将来、地元就職を検討することを想定し、地元企業の理解を深める機会にしてほしいとの思いから、3年前から実施しています。

ガイダンスは、1部（5校時）で熊毛支庁協力のもと、「種子島の暮らしを支える職業人座談会」と題して、地元企業に就職している5名のパネリストの実体験を聞き、質疑応答がありました。生徒からの質問もあり、パネリストはそれぞれの質問に丁寧に答えていらっしゃいました。2部（6校時）は、生徒が興味のある企業を選択し、その企業担当者から仕事内容や企業概要等、普段の生活では知ることが難しい情報を得ることができたのではないかと思います。生徒の皆さんは、各自が希望した業種の企業等に参加してもらいましたが、自分が思い描いていたイメージは正しかったでしょうか。中にはイメージとは異なっていたと感じた生徒もいたのではないのでしょうか。講演や講座を通して学んだことを、今後の進路選択や進路決定に役立てましょう。



<今年度を振り返って>

今年度（第13期生）の進路別割合は、進学者は約82.9%、就職者は約11.8%、その他5.3%の割合となっています。近年、専門学校進学希望者が多くなり、就職希望者が減少する傾向にあります。先日実施した島内企業ガイダンスでは、地元企業が皆さんに大きく期待を寄せていることが分かりました。高校卒業時にすぐに地元企業へ就職してほしいということではありませんが、将来にわたって皆さんが種子島にUターンし、地域を支える人材になってほしいと思います。

さて、この1年間を通して皆さんに「主体性」について伝えてきました。令和5年度からは、学校も大きく変化していきます。皆さんには先日の全体説明で、朝補習の廃止や単元テストの実施などについて説明をしましたが、そのことがどんな意味を持つのか理解していますか。朝補習について挙げると、朝補習廃止にともなって必然的に学習時間が減少することになります。したがって、自ら計画を立てて自主的に取り組む事が必要なのです。定期考査に代わる単元テストについても、単元毎に確認テストをすることで、学力を確実に定着させる意図があります。生徒の皆さんはそのようなことをしっかり意識して取り組む必要があります。今までと同じ意識では、遅れをとることも予想されます。まさしく主体的に取り組む事が求められます。